6 令和4年度各支部の活動状況(県東ブロック)

鹿嶋市

- 1 研究主題
 - 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ~ 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の理解と

学習上または生活上の困難に対する個に応じた指導内容・方法の工夫改善~

- 2 事業内容
 - (1) 鹿嶋市特別支援教育研究部研修会 8月19日(金) [オンライン開催] 講演 「読み書きに困難がある児童の通常の学級での本質的な学びをめざして」 講師 守谷市立守谷小学校教諭 田渕恵美子先生
 - (2) 中学校区別小中学校特別支援学級交流会 〔オンライン開催〕

鹿島中学校区 11月18日(金) 高松中学校区 11月1日(火)

鹿野中学校区 10月17日(月) 平井中学校区 12月13日(火)

大野中学校区 11月22日(火)

- 3 今年度の成果
 - 研修会では、県内で活躍している現役の特別支援教育コーディネーターの先生にご講演 いただき、日々の実践に役立つ具体的な支援の在り方を学ぶことができた。
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大状況から、中学校区別小中学校特別支援学級校外学習 は中止としたが、それに替えてオンラインで交流会を実施した。中学校区ごとに、学校紹 介、クイズ、ゲーム等、オンラインでできる内容を工夫し、充実した活動となった。

潮来市

1 研究主題

自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進~個に応じた指導の充実~

- 2 事業内容
- (1) 市教育会特別支援教育研究部代表者研修会 6月9日(木)[場所:潮来第二中学校]
 - ・令和4年度の活動計画及び情報交換
- (2) 市教育会特別支援教育研究部夏季研修会 8月9日(火)

〔場所:潮来第二中学校、オンライン〕

- ・演題 「検査結果の読み取りと支援の在り方」
- ・講師 菅宮 ちはる 先生(県カウンセリングアドバイザー、スクールカウンセラー)
- (3) 県東ブロック自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会 10月26日(水)

〔場所:オンライン〕

- ・演題 「通級指導教室における自立活動の在り方」
- ·講師 井坂 恵理子 先生 (土浦市立都和南小学校)
- (4) 市ナイスハート展 10月~11月 〔場所:各学校〕
 - ・校内展示、ホームページでの作品紹介等
- (5) 合同校外学習 10月~12月
 - ・中学校区ごとに、小中交流活動として実施

- 3 今年度の成果
 - 夏季研修会において、検査結果の読み取り方と、検査結果に基づいた適切な支援・指導 の在り方について、すぐに現場で生かせる有意義な研修ができた。
 - 各研修会や作品展示、交流活動等によって、特別支援教育に対する理解を深めるととも に、児童生徒一人一人の個性を生かした教育に結びつけることができた。

神栖市

- 1 研究主題
 - 「児童生徒一人一人の障害の状態等に応じた指導の充実」
- 2 事業内容
- (1) 第1回神栖市特別支援教育連携協議会 6月17日(金)[場所:神栖市教育センター]
- (2) 第2回神栖市教育会特別支援教育研究部研修会 8月10日 (水) [場所:神栖市教育センター]

講演 「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋渡し」

講師 元筑波大学教授 大六一志 先生

(3) 神栖市特別支援教育の連携に係る研修会 8月22日(月)[場所:神栖市教育センター] 講演 「外部機関と連携した支援について」

講師 茨城大学教育学部 教授 新井英靖 先生

- (4)波崎地区·神栖地区学習交流会 中止
- (5) ナイスハートふれあいフェスティハ・ル 2022 12月2日(金)~5日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (6) 第3回神栖市教育会特別支援教育研究部研修会 2月 書面での開催
- 3 今年度の成果
 - 研修会や講演を通じて、各研究員が研修を深めることができた。

行 方 市

- 1 研究主題
- 一人一人の教育的ニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進 ~ 特別な支援を要する児童生徒の支援体制の構築・理解と適切な支援を行うために ~
- 2 事業内容
 - (1) 市教育委員会第1回特別支援に関する研修会/第1回特別支援教育研究部代表者研修会

5月31日(火)北浦庁舎 特別支援担当者・支援員全員/特別支援部会部員10人 講師 大六 一志 先生

演題 発達障害の自立活動 一個に応じた指導とは一

(2) 行方市教育委員会第2回特別支援研修会並びに情報交換 8月9日(火) 講師 喜多 好一 先生 演題 個別の指導計画に基づいた自立活動の指導について

- (3) 特別支援教育に係る学校訪問及び授業参観 10月14日(金) 麻牛小学校
- (4) ナイスハートふれあい作品展 (学校毎 Web 開催) 12月19日(月)~1月10日(火)
- (5)特別支援教育研究部代表者研修会 2月 麻生中学校 特別支援部員10人

- ※ 研修会や支援委員会後に市特別支援教育担当者研修会を実施した。
- ※ 中学校区ごとの合同校外学習は、コロナ禍を踏まえて中止した。
- 3 今年度の成果
 - 本市の課題である自立活動の実際について、理解を深めることができた。個に応じた指導、個別最適な学びにつなげることができた。

鉾 田 市

- 1 研究テーマ 「一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実」
 - 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づいた指導方法の工夫 -
- 2 主な事業
- (1) 研究部代表者研修会 5月11日(水) 旭南小学校
- (2) 研究部全体研修会 6月13日(月) 旭南小学校
 - ①情報交換アンケートの実施
 - ②令和4年度の運営確認
- (3) 夏季研修会 8月9日(火) 鉾田市旭総合支所学習供用施設
 - ①WISCⅢ検査法研修
 - ②田中ビネー検査法研修
- (4) 研究部全体研修会 8月24日(水) 旭西小学校
 - ①令和5年度の特別支援の時間割について
 - ②令和5年度に向けての確認事項について
- (5) 鉾田市教育会特別支援教育研究部研修会 11月25日(金) 旭総合支所学習供用施設 講師 茨城県教育研修センター特別支援教育課 課長 本城知子先生
 - WISCのレポートの解釈と活用 -
- (6) 鉾田市教育会手をつなぐ子らの作品展 1月28日(土)~2月3日(金)

鉾田市中央公民館

- 3 今年度の成果
 - 茨城県教育研修センター特別支援教育課の本城先生のWISCのレポートの解釈と活用 は検査への理解が深まりとてもよい研修であった。来年度に向けての時間割編制について も研究部として、問題を共有できたのはよかった。